

(仮称) 宇都宮市住生活マスタープラン（素案）に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和5年1月11日（水）～ 1月25日（水）

(2) 意見の応募者数 2者（1名1団体）
意見数 12件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数	0	0	1	1	2

2 意見の処理状況

区分	処理区分	件数
A	意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	3件
B	意見の趣旨等は、計画に盛り込み済みと考えるもの	3件
C	計画の参考とするもの	0件
D	計画に盛り込まないもの	0件
E	その他、要望・意見等	6件
計		12件

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	E	<p>【「二重サッシまたは複層ガラスの窓の設置状況」（P. 17）】</p> <p>二重サッシや複層ガラスの窓の設置による断熱は、省エネ効果に加え、室内を一定の温度に保つことから住民の健康の向上にも資することが期待される。このため、一日の温度差が大きい栃木県に位置する宇都宮市では、健康面も含めて特に推奨すべき事項であると考えます。</p>	<p>本市においては、住宅の機能性を向上させ、長く慣れ親しんだ住宅にお住まいいただくため、住宅改修補助を実施しており、二重サッシや複層ガラスの設置も対象としております。</p> <p>今後とも、市民の皆さまが健康的な住生活をお過ごしいただけるよう、補助制度の利用促進に努めてまいります。</p>
2	A	<p>【「3 住宅ストック」の（3）「住宅ストックの質の向上」（P. 42）】</p> <ul style="list-style-type: none"> “高機能住宅の更なる普及促進”とあるが、高機能住宅について本計画の中で説明があるか。 また、住宅ストックについては、中古住宅の流通の向上、そのためのリノベーションの促進、品質保証などが必要となる。したがって、高機能住宅の普及促進だけではなく、そのようなキーワードも少し入れる方がよいの 	<ul style="list-style-type: none"> P. 58に、高機能住宅について、環境負荷の少ない社会の実現に向け、再生可能エネルギー・省エネルギー機器を活用したIoTの導入や、高気密・高断熱化等の、環境に配慮した高機能住宅の普及・促進に取り組む旨を記載しております。 P. 45の基本目標4に下記の文のとおり追記させていただきます。 「安全で環境にやさしい、高機能で良質な住宅ストックの形成や流通の促

		ではないか。	進により、住み慣れた地域でいつまでも住み続けられるような住まい・住環境づくりを目指します。」
3	A	<p>【「2 基本目標」(P. 45)】</p> <p>住まいづくりにおいては住まう人の健康を維持し、向上するという視点が極めて重要である。</p> <p>そのため、どこかに健康というキーワードが入っていればと思う。</p>	<p>基本目標3については、住まいの確保の安定化に重きを置いていることから、安全でいつまでも住み続けられる住まいづくりを目的とするP. 45の基本目標4に下記の文のとおり追記させていただきます。</p> <p>「安全で環境にやさしい、高機能で良質な住宅ストックの形成や流通の促進により、住み慣れた地域でいつまでも健康に住み続けられるような住まい・住環境づくりを目指します。」</p>
4	E	<p>【「基本施策1-1-4 居住誘導区域等への居住促進」(P. 48)】</p> <p>計画案に賛同するが、NCCを基盤とした「スーパースマートシティ」の実現に向け、居住誘導区域等への定住の促進は重要施策であると認識しており、県外からの移住定住希望者等に対しての財政支援等、住環境整備に向けた施策の立案を期待する。</p>	<p>本市では、現在、居住誘導区域等に新たに居住する方を対象に、家賃補助や、住宅取得補助を実施しており、特に、市外から転入される方の補助を優遇しております。今後とも、NCCの更なる推進に資する住宅施策の推進に取り組んでまいります。</p>
5	B	<p>【「基本施策2-1-1 長く住み続けられる住宅づくりの促進」(P. 50)】</p> <p>計画案に賛同するが、良質な住宅ストックの形成を図るためには、発災後の住宅・エネルギーの確保に向けた取組の推進が必要と考える。コージェネレーション等自立分散型エネルギーの導入支援や、共同住宅については、災害時でも住宅内で生活を続けられる機能を備えた情報提供や普及促進が必要だと考える。また、CO2削減にも繋がることから、今後も引き続き、補助制度の継続等環境整備に向けた施策を立案することを期待する。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、基本施策4-2-2及び4-3-1に盛り込んでいるものであり、本市では、自立分散型エネルギーの普及を促進することにより、地球温暖化の抑制や災害に強い安全・安心なまりづくりを推進する「家庭向け脱炭素化普及促進補助金」や、共同住宅の災害発生時の被害軽減を図るため、災害時対応に関する普及啓発、災害対策に必要な経済的支援などに取り組んでおり、引き続き、災害時の住宅・エネルギーの確保に向けた施策の立案など良質な住宅ストックの形成に取り組んでまいります。</p>
6	B	<p>【「基本施策2-1-2 多様な世帯ニーズに応じた良質な住宅の整備促進」(P. 50)】</p> <p>計画案に賛同するが、高齢者世帯への情報提供及び促進対策の具体策として、「STOP!ヒートショック」活動との連携や、浴室・脱衣室の温熱環境向上のための補助金制度創設の検討</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、基本施策2-1-1に盛り込んでいるものであり、本市では、住み慣れた住宅に長くお住まいいただくことを目的として、断熱改修等の住宅の機能性を向上させるための「住宅改修補助制度」の利用を推進しており、今後も引き続き、安全・安心な住まいづくりに</p>

		をお願いします。	取り組んでまいります。
7	E	<p>【「基本施策3-1 住宅確保要配慮世帯のための適切な住宅の供給」(P. 52)】</p> <p>計画案に賛同するが、特に公営住宅における高齢者支援については、IoT技術を活用したサービスを展開する民間事業者の見守りサービス導入の検討をお願いします。</p>	<p>本市では、市営住宅において、緊急通報装置や見守りセンサーのほか、生活援助員による生活支援サービス等により入居者を支援するシルバーハウジング事業や民間事業者による見守りサービスなどを実施しており、今後も引き続き、市民の皆さまの安全安心に向けた事業の推進に取り組んでまいります。</p>
8	B	<p>【「基本施策4-2-2 住宅の防災・減災対策の推進」(P. 58)】</p> <p>計画案に賛同するが、下記の文章を追記することを提案する。</p> <p>「災害でも自宅内で生活を続けられる住まいづくりのため、コージェネレーション等の自立分散型エネルギーの導入を支援し、共同住宅については、災害時においても自宅内で生活を続けられる機能を備えた共同住宅の情報提供や普及を推進します。」</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、基本施策4-2-2に盛り込んでいるものであり、共同住宅の防災・減災対策につきましては、災害発生時の被害軽減を図るため、災害時対応に関する普及啓発に努めるとともに、災害対策に必要な経済的支援など、住宅の防災・減災対策の推進に積極的に取り組んでまいります。</p>
9	E	<p>【「基本施策4-3-1 環境負荷の少ない住宅づくりの促進」(P. 58)】</p> <p>計画案に賛同するが、家庭におけるCO2削減につながることから、省エネ設備の普及促進にあたっては、高効率給湯設備の導入支援もお願いしたい。</p>	<p>本市では、二重サッシや複層ガラスの設置など住宅の機能性を向上させ、省エネにも繋がる住宅改修補助を実施しており、こうした補助制度の利用を促進するとともに、今後は、家庭における住宅の脱炭素化に向けた効果的な支援策について検討してまいります。</p>
10	E	<p>【「基本施策4-3-1 環境負荷の少ない住宅づくりの促進」(P. 58)】</p> <p>計画案に賛同するが、家庭において、都市ガス等環境負荷の低いエネルギー利用を推奨する。</p>	<p>本市では、「家庭向け脱炭素化普及促進補助金」において、ガスを利用して、電気や熱を効率的につくり出すエネファームや、省エネや創エネなど複合的に設備を導入し住宅の脱炭素化を実現するZEH住宅に対する支援を実施しており、今後も引き続き、家庭においても効果的・効率的なエネルギー利用を促進できるよう取り組んでまいります。</p>
11	A	<p>【「第6章 プランの推進に向けて」(P. 67, 68)】</p> <p>宇都宮市民の住まいへの理解と関心を高めることが、プラン推進のベースとして重要ではないかと考えている。宇都宮市に限らず全国的に住教育が十分ではない実態があるため、子ど</p>	<p>住まいは、市民の皆さまが人生の大半を過ごされる生活基盤であることから、住まいの選び方や、住まい方などについてじっくりと考えることにより、ハウジングリテラシー(住宅・住環境に対する知識・教養等)の向上を図ることは、重要と考えられますの</p>

		<p>も達は小中高校の家庭科などにおいて、大人達は社会教育の一環として、宇都宮市民の「ハウジングリテラシー」の向上を目指すことを期待する。</p>	<p>で、P. 67の「市民との連携」に下記の文のとおり追記させていただきます。</p> <p>「本計画を実現していくために～（中略）～こうしたことを踏まえ、積極的な住情報の提供や自主的な住まい・まちづくり活動などに対する支援等を通じて、<u>市民一人ひとりが住宅・住環境に関する知識・教養等を深めること</u>などにより、住生活をより一層向上させることを目指すとともに、市民ニーズを的確に捉えた施策の実施に向け、市民や地域活動団体等との連携確保に努めます。」</p>
12	E	<p>【本計画全般について】</p> <p>NCC，環境政策，（これから増える単身高齢世帯も含めた）福祉政策など，関連する政策と十分に連携していくことが重要であると考え。</p>	<p>本市が目指す「スーパースマートシティ」の基盤となるNCCの更なる推進や，環境負荷が少なく，持続可能な住環境を維持することのできる住宅づくり，住宅の確保に配慮を要する方への居住支援等に資する住宅施策について，今後一層，本市の関連政策と相互に連携しながら取り組んでまいります。</p>